

「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」

永和信用金庫

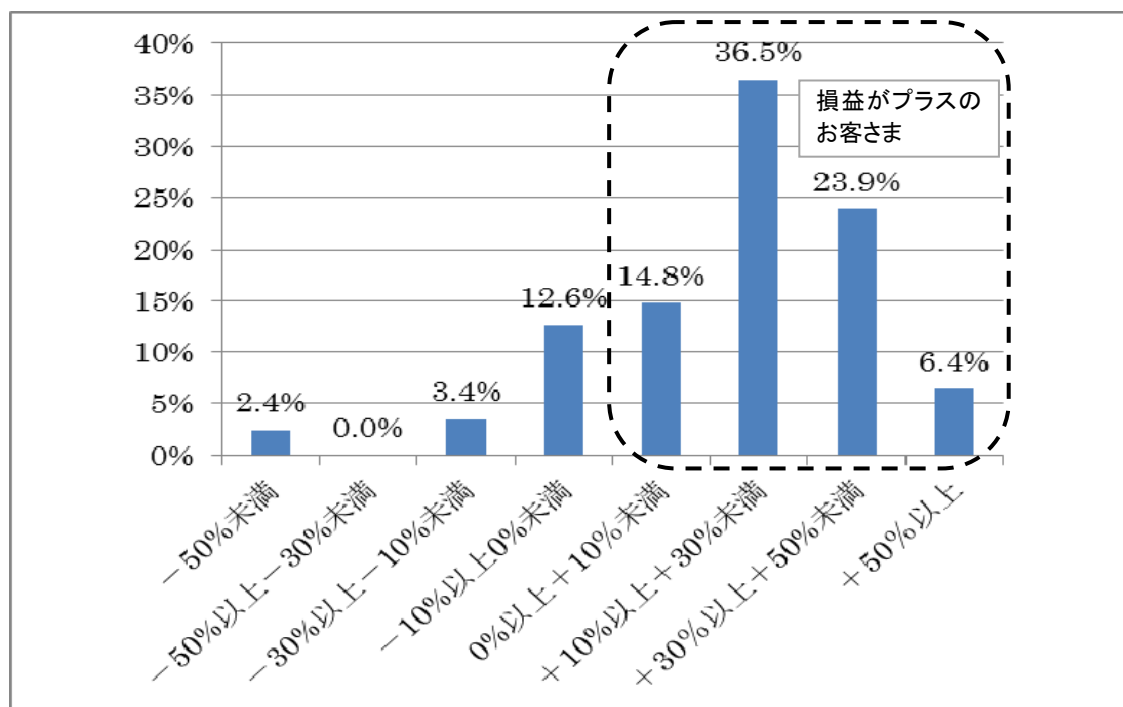
2018年6月に金融庁は、各金融機関の比較が容易にできるよう、比較可能な共通KPIとして、下記の3つの指標を公表しました。これに基づき当金庫においても、お客さまへの参考指標として、2019年3月末時点で算出した数値の共通KPIを公表してまいります。

投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

①運用損益別顧客比率	投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。この指標により、個々のお客さまが保有している投資信託について、購入時以降どれくらいのリターンが生じているかを見ることができます。
②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン	設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。中長期的にどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。
③投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン	設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預り残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。中長期的にどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

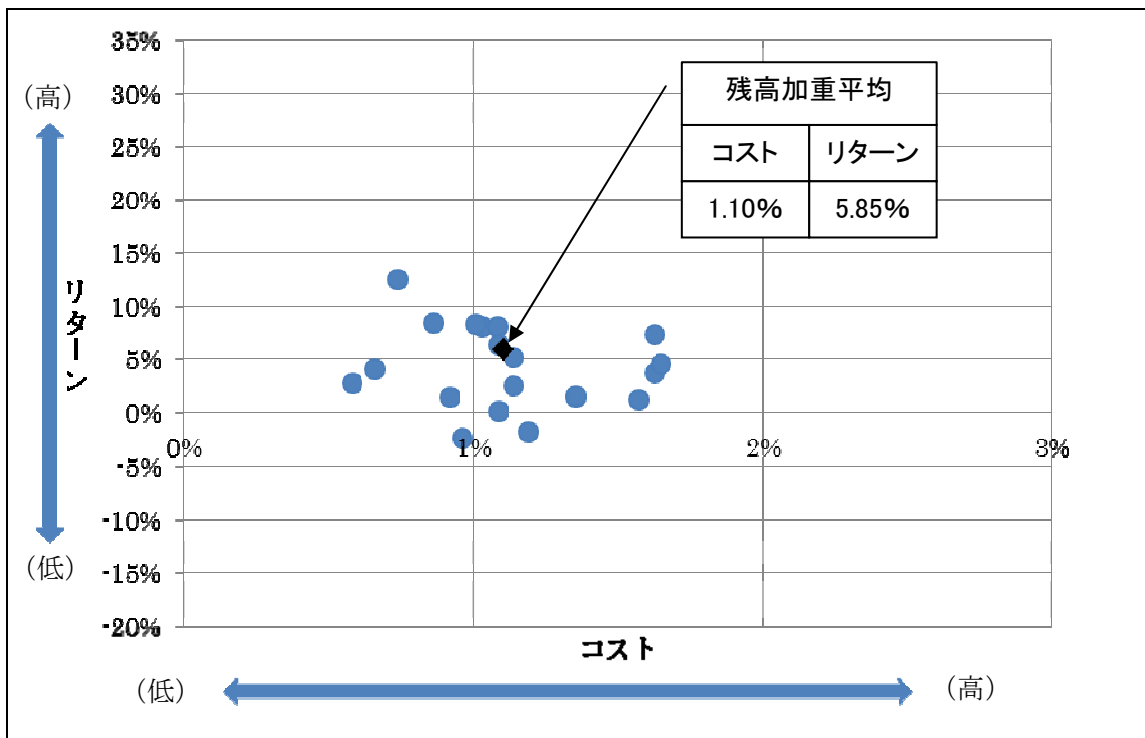
① 投資信託の運用損益別顧客比率（2019年3月末時点）

投資信託における運用損益率は、約82%のお客さまがプラス(0%以上)となりました。

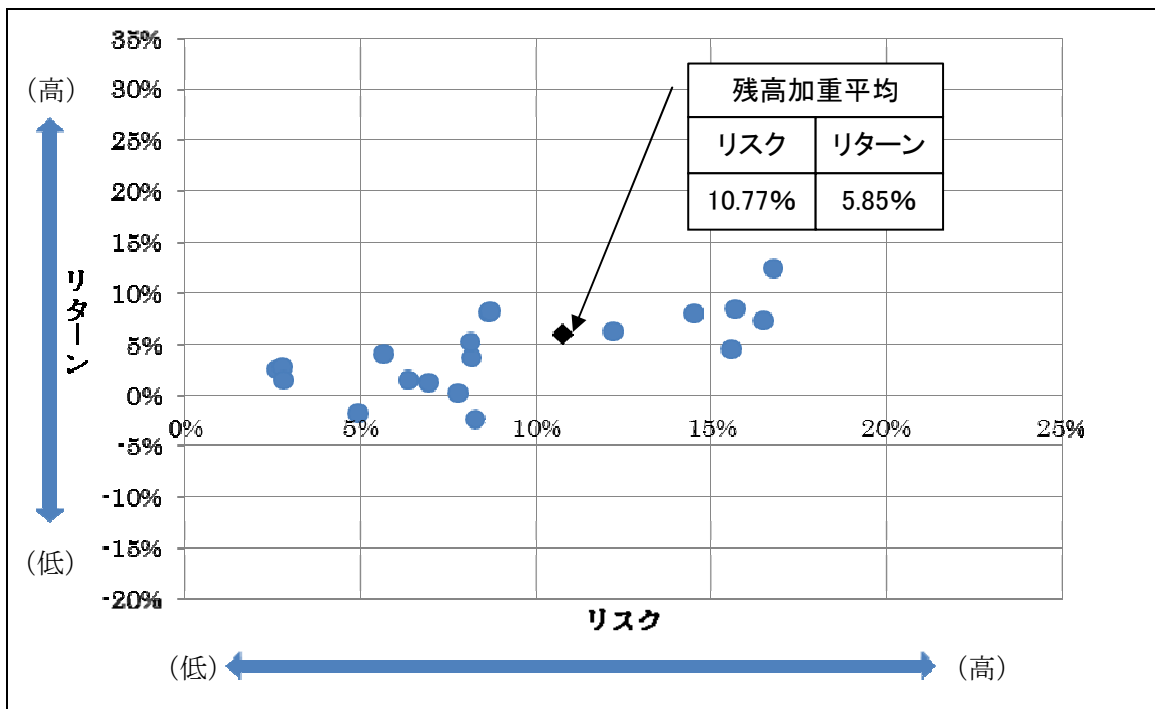


② 投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン(2019年3月末時点)

投資信託の預かり残高上位20銘柄の平均コストは 1.10%、平均リスク 10.77%に対し、平均リターンは 5.85%となりました。



③ 投資信託預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン



投資信託預かり残高上位20銘柄(2019年3月時点)

順位	ファンド名
1	しんきんJリートオープン(毎月決算型)
2	しんきんインデックスファンド225
3	ニッセイノパトナム・インカムオープン
4	世界のサイフ
5	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
6	ダイワ・バリュー株・オープン
7	ピムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型)Dコース(為替ヘッジなし)
8	しんきん好配当利回り株ファンド
9	しんきんJリートオープン(1年決算型)
10	日経225リスクコントロールオープン
11	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)
12	ユナイテッド・マルチ・マネージャー・ファンド1
13	DIAM高格付インカム・オープン(1年決算コース)
14	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)
15	アセット・ナビゲーション・ファンド(株式40)
16	しんきん世界アロケーションファンド
17	アセット・ナビゲーション・ファンド(株式20)
18	グローバル・ソブリン・オープン(資産成長型)
19	MHAMスリーウェイオープン
20	損保ジャパン・グリーン・オープン

(設定後5年以上)

お客さま本位の業務運営に関する 取組状況について

永和信用金庫(以下、「当金庫」といいます。)は、2017年12月に「お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティ)に関する基本方針」を策定・公表いたしました。

このたび、2018年度の自主的な取組状況を公表いたします。

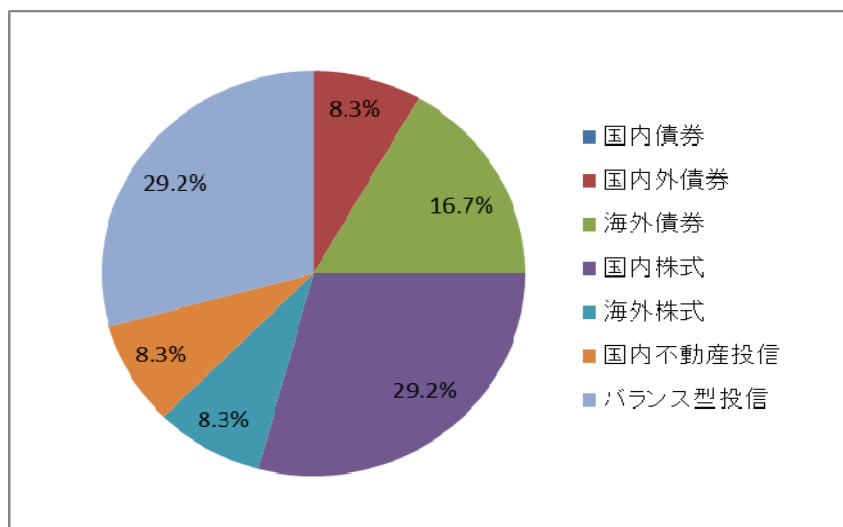
当金庫は本方針を遵守し、今後も取組状況を定期的に公表するとともに、お客さま本位の業務に努めてまいります。

1. 投資信託商品構成比(グラフ参照)

お客さまのニーズにお応えできるよう、平成31年3月末時点で24ファンドを取り扱っております。今後も適宜ラインナップの見直しを行ってまいります。

主な投資対象		取扱商品数	構成比
債券	国内	－	－
	国内外	2	8.3 %
	海外	4	16.7 %
	小計	6	25.0 %
株式	国内	7	29.2 %
	国内外	－	－
	海外	2	8.3 %
	小計	9	37.5 %
不動産投信	国内	2	8.3 %
	国内外	－	－
	海外	－	－
	小計	2	8.3 %
バランス型		7	29.2 %
合計		24	100.0 %

(グラフ)



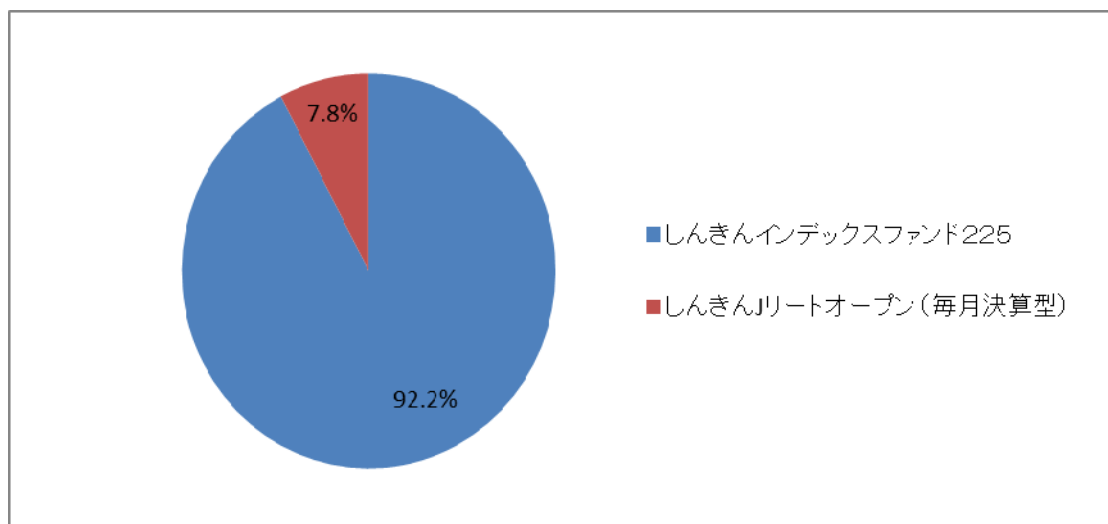
2. 投資信託販売額および投資信託契約残高

当金庫では、お客さまにあった適切な商品をご提案するよう努めております。

①投資信託販売額商品(グラフ参照)

順位	運用会社	ファンド名	投資対象	決算頻度	構成比	申込手数料	運用管理費用 (信託報酬)
1	しんきんアセットマネジメント投信	しんきんインデックスファンド225	国内株式	年1回	92.2%	-	0.864%
2	しんきんアセットマネジメント投信	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	国内REIT	年12回	7.8%	2.16%	1.026%

(グラフ)

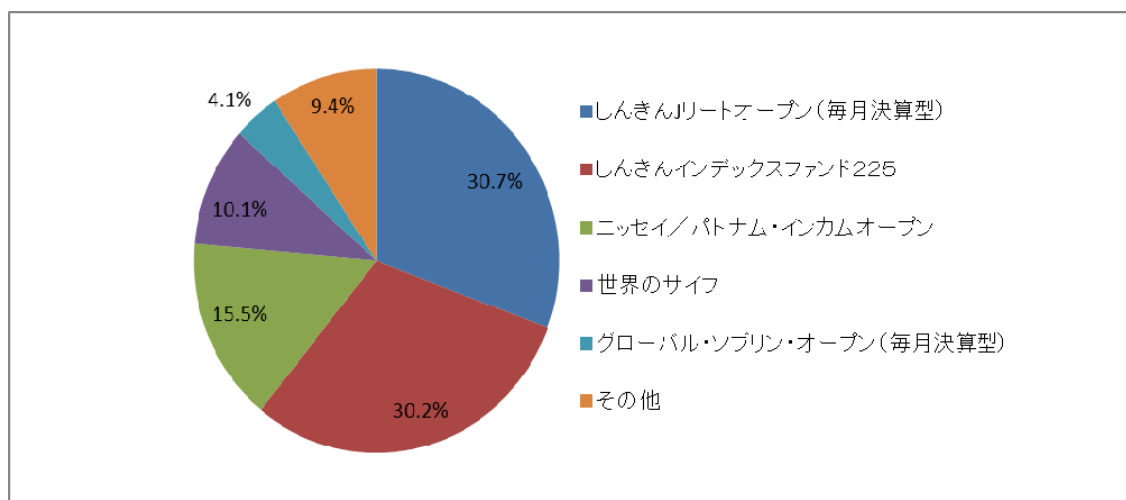


②投資信託残高(グラフ参照)

順位	運用会社	商品名	投資対象	残高	構成比	申込手数料	運用管理費用 (信託報酬)
1	しんきんアセットマネジメント投信	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	国内REIT	184,851,337	30.7%	2.16%	1.026%
2	しんきんアセットマネジメント投信	しんきんインデックスファンド225	国内株式	182,083,491	30.2%	-	0.864%
3	ニッセイアセットマネジメント	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	海外債券	93,547,155	15.5%	* 2.7%	1.62%
4	日興アセットマネジメント	世界のサイフ	海外債券	60,896,308	10.1%	2.16%	*実質 0.95605%程度
5	三菱UFJ国際投信	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	国内外債券	24,569,616	4.1%	* 1.62%	1.35%

* 申込金額に応じて手数料が異なります。

(グラフ)



3. 定期的なアフターフォローの実施

投資信託を保有しているお客さまに対し、年2回、ご訪問やお電話によるご説明を実施させていただいております。

4. 利益相反の適切な管理

当金庫の取り扱う投資信託に関連会社が提供するファンドはございません。

5. 金庫内の評価制度の改善

「お客さま本位の業務運営」に関する項目を設け、職員に対し意識付けを行っております。